支の共同作戦方策を 兵倫目 衛により羅國中であったが、一日 日 別武閣レービン中将は本國政府の つ

車をもつて北部綏遠の防備を擔當せしめ、 (に一日閣錫山に山西、綏遠、祭哈爾三省の連防計畫を提議した、湯恩伯以下の中央軍を以て東部を、又趙承綬 市民の福祉增進 山西軍主力を平綏線沿線に集結せしめ即時

【南京一日同盟】軍事委員會は河北、綏遠、山東、河南、山西、祭哈爾の北支共同方策を定め、徐州軍事會議で

隴海、津浦、膠濱の四鐵道を中心とする河北、

天津治安維持會布告を發す 大津一日同盟」天津市自治会は一日成立しま

大津苗安維持曾、委員長高慶奪、秘書科劉紹根、委員・王朝春、王竹休、郎玉堂、朝劉靜、劉玉書、張謂字、劉慶郡につき郷目の方猷を決定、二日より市縣の回復につき語帳を開始することになつたが、委員の儒解れ左の如し 委員の預觸れ | 「天津」目回盟 天津治安斯機會は一日市政府総館局において成立初配合せを行った上、今後の善

大異動けふ發令

進級二千五百名、轉補三千四百名

待命五十名に及ぶ未曾有の多數

抗敵會を結成 海左翼大學

山東、河南三省の具體的共同作戰計畫を定め 動準備をなすやう命じた

また除好蟹の組織など五項目の流 地で一日安建川線を北上海州に到地で一日安建川線を北上海州に到

態度はいよく 著骨となった 將韓會見

安津二日同盟 中央軍は三ヶ列

派担 び朝鮮軍の事職將校配置等は 既報 人指導の目前で本所職員の派遣及

することくなり、民職長を中心に

日同盟」北平治安維持商

野蛮の総定に協すされてあた佐田。より、大阪の政党という。

態である

第一回委員館を開き、天津の治安 哲を離した、二日を産便能と共に脚する布 で、高委員長は一日附をもつて天

維持消後災を滞することになった

全國抗敵後援會

一日を期し組織

伊佛英日

計特曹勇

【天津一日同盟】金岩橋野桑市場

金湯橋野菜市場

同士師軍官県投行助に始か行をあ 経由で一月年間八畦南京に向着、 経由で一月年間八畦南京に向着、

選した最密によると北文任語の朝に開始解入を四地人同様に指導版的

最近恋 人養島間と同一資格の下に朝鮮人

一年前一時四十分朝鮮人會

直面複数、映画、海圏などを見て

閉され人城不可能と知るや鶏政に、に釣り上げた、健

り午後五時半無

※程 きつけ 徐ろ

されてある流敵後援衛を組織化し

統動はの見地カー日下各地に設立

《西京一日同盟』 國民政府は國家

中央版無指導の下に打つて一丸と

7

で元氣な同君

技を得て安康記

1991に要請したが、則近一帯には「記書を取答して萬族を選事、その言語に要請したが、則近一帯には「記書を取答して萬族を選事、その言語に要請した。

川岸部隊より 合った

る公報は二日左の如く施設された 川岸部隊より遠した戦死者に闘す (括照内は販死日と 場所及 び住

公報 新し八月一日を居して全國指揮後数 の国、後援、議事金額集、大一院に削減節線の 関、後援、議事金額集、供信長数 の国民地動に定出した 布群山海事出服所長 選信技手 德原士/吉 遞信瞬令 (1111)

◆宋東耶氏(朝鮮日根版告郎長) 新任境沙の湾め二日本社来訪 新任境沙の湾め二日本社来訪 正)一日入城館前屋へ

◆新田遊良氏(朝取代行取締役社長) ▲山本語作氏(開取続役) ▲古野義行氏(開) ▲三井一三 氏(開文配人) 阴薬疾患の為め 二日本赴来市

任藥劑少將

天地支黃

任獸醫少將(各班)

同 町田 博多 雅紀大佐 西城 正之

新聞班長更迭

れてゐると汪禮僧唆破 正にその通り、これ版文の既 支那は七、八十年日本より迎

哲宗逐从

に目に渡しめ調べたところ に百能を振するの豊価が要る して百年をでつち上けてしまつ 然るにあべこべに欧米と提響 孫文の後継者は日支提際の電

都被留苦

二岁家

せられ二日産令された

令

日附離令)

「東京電話」院軍省新聞班長美区

(佐殿守氏が補

居 本府極事 平石 林 本府極事 平石 林

数機に應するの機能に置き、軍司 人性に重み上版者の異動の他は一 一で行した、今次の異動は時局の重 **御だ扱を叩ぎ二日その第一天を**

院軍少將 樹下 東治 步兵第十版國長 步兵第十版國長

植東京養備司令部登謀長 歴軍少將 吉本 貞一 東京養備司令部付

植立空技術研究所長 香菇

医軍中將 正极英大郎 袖步兵第二十二庭園 所澤飛行學改長

稲步兵第三十庶國長 医車少將

医甲甲甲 音乐 道大

· 描步兵第二十九饭哥! 陸軍少將

師際長の内容強化を関り連

軍司令官及び師團長

任騎兵少佐

いて在京者に對して近備首相侍立

銀行でれた、その他は内閣

【東京市活】陸軍八月の大異動に 金印司令官及ひ師際長等の規補

職重兵監部附被仰付 職重兵監部附被仰付 陸軍少將 井出 繊維 補門駐砲兵際投資単 陸軍少將 内山英太郎

植陸東省人事局補任課長 地兵大佐 柳田二八 植陸東省東高衛寨県 種野東省東京

次郎 第十一節劉経理郡長

艦隊

路歸國

月給を難へる間だけが海の形

| 程序原代動 | 「モスコー | 日同盟] 司令宮ヤー|| 「モスコー | 日同盟] 司令宮ヤー|

御鹿を抜錨一路

他を破録した戦外を競行、連報数・一個民政府が經濟斯交密令」その「四民政府が經濟斯交密令」その

株式宮町 木村 製 桑 医子図薬店百貨店薬品部にあり

したが、四日

変は去る二十

医軍少將 鈴木 率道

阿里省人事局徵募課長

陸軍少將

にした海燕教職長と家組段 が解消してしまひます なあに、そのうちに國民政府 電腦を至っばにして置き去り

虫原南

長期抵抗方針に出るさらな

國民政府は経済い変を治令し

滅全群虫害噴

荒井のお乳 電話龍山七三一

電本局一〇〇四

對策を齎して 蘇聯武官歸任

平信行為の根源地として利用せら 臨坊の支那兵登は、昨一日我

事態が購大し由東に波及した場合。由合せが落けられてゐる模様であ でもなく、既に蔣摩南者の間には、して山西の閻錫山も今朔日中に南一 |の動策打合ゼにあることは言いて、な、なほ縁の南京行と時を同じう

が加藤部隊により根本師に健康せ

御より微減し退却せんが二十八

日同盟」表が守い道場と

敗残兵馬廠に集結

二、北平城内に

三十一日の戦況

てからつた後 弁護用に喰つ 繋ぐ北鮮航路 秀な健園船を 機関の中野寅 日本海に優

字。 下、水井琥珀は壊つかさる ものたことを世は堀て上げ 君と永升課和 に立ったのは と論じた場

直履に就依した高邊尉氏は一日九 [天津一日洞盟] 天建治安維持會

維持會 天津治安

强

劑虫殺

苑)同于东平西(前同)

事變の擴大如何では

更に重要任務逐行

に活躍す

にニタリー凸版は水井殿相)

步兵大尉泗井清三郎(廿八日團)同作久周正夫(廿七日陽河村)

一间)周克姆克斯(帕印) 超 今國營部縣 少與在湖田代前治(廿七月開河 村)步兵北湖田代前治(廿七月開河 村)步兵少場治地為重(廿八日 南流)

決定した 【線外赤】

の可及的速かな 世央中國深見理。(十二日蘭門 等、世廣和金山總四年中華島門 等、世廣和金山總四年中華島門 時、世廣和金山總四年中華島門 時、日東國安市等新田)園 東平町建(前日)北央北端大路 國保(前田)北央北端大路 國保(前田)北央北端大路 國保(前田)東州北海市(十 八月南流)北京北海山口政告(相 1、日本海上海

る縁駆はさきに適介石の譲張した「即り自命各塚武日後援弾を中心と日次総表した注着歯の腓局に関す」域すべき情勢を薩臘しつてある。

談話と共に民衆の抗日意識に

抗日後援頭を組織し「日本治國主

七月二十九日通州附近の駐晒に午後八時三十分級表

制力の販売に

祖國愛に急轉向

愈よ各宗教團體が總立ちで

超非常時局に大活動

く付の長老派も

これぞ神國日本の姿

-人針兄弟。

神宮參拜者廿八萬人! 人の登録者に昨年同期に比し、百十五名の

入つたが一日朝またも義人の間で 恋も世の同情を果めて本紙に記事 京城市山町ニアー一道本忠美治君 れ「僅少ですが少年一家の御見舞 が出た翌日早建少年達が望みの干 (メンと用之者(ナンの競れな境遇は 人計は一婦人の好意で兄弟の手に 一個の財団金が本社を通じて送ら いちらしい千人針の幼ない兄弟



部院南京部隊步兵少尉朝子嗣雄氏 Fe)は肚標なる名誉の観光を経行

牧前子学習の教を言まな思行の学」と顕現中の同時の姿は、情楽症の歌歌な大龍さんは「金なんたない省上夫我の武神造人を振つてゐた。物に顕現中の同時の楽は、情楽症の歌歌造人を振つてゐた。物に親弟米郎神承「氏」で「方宿直、鮮神で「金を出せ」と脅迫したが「一、朝華門ったがような発見に異して、和詩米郎神承「氏」で「方宿直、鮮神で「金を出せ」と脅迫したが 郷出身で、本年三月結集したばか 立に存む招聘され、将来を指記さ 務となり、東亞直絲浦州出版所設 政朝子少尉の際家に任み帰的の帝 れてゐた。夫人稷子さんこ。正同 了ると那是製絲大田亞種吸密所動 たが同氏に京都村何鹿那線部新野 窓の戸を開けて見ると、脳の中で

南總督あてに

日午後二時キリスト教長を派で 京《勝河精理集正同派聯合量會

(京城府内に在る十二ヶ所

丸としたもの) 時局

ハリキリシみせてもる

を果すべきかの一點に正がれ、その代謝に大から次、と照れ今やや鯱の空に開明な繁慶に異版なは内鮮(鬼となりキリスト教も写真教もすべてを組織、具赤子としての菩薩は如何に続後の任務・・・・・・・・・・・・・・・

是よ、半部人のこの解語を上北支の暗雪を破って一度び鬼軍の正義の功が彼かれるや果然半島ほど

(4) 「鎖と集つ」た、この主を受けたいとはごせて、鮮趣年が、二日南に同に総議会ら金を敷造しませ、四十七銭を紹出し、同を脱離させ、と養践者众の気に強いたつた「毎」 || 台て記ざる駅像として駅存款局は「線の六字と目の鬼を鮮能で描いた。|| || 台で記ざる駅像として駅存款局は「線の六字と目の鬼を鮮能で描いた。 た、これは僅かですが原軍へ織つ「北支庫局の総形をみるにつけて最 た。この長芒便がかくる聡に出て「鮮海年が、二日南部僧に磐滅溢る」 てあげて下さい」と記録金十四個 早手を挟いて衝観してあられない →能軍の害願書に、 尺星階下面

| 異性に一般の振りを示したことは

皿書の志願

・被は振り返りさま処方で大権さ

妻子を惨殺

秋岡商會 品語 京城 二二五大百 計話本局 四三九〇百

+

一一人心我し軽紅なっ

復高く、おまけに水巻は、多原 成りに横本線事が明る。

慢勢な風風第一

今のところ進路は不明だぜ

二日、四日はご用心!

仁川の潮時

お子さんの

二日目勝

つ軍はとあって東海に軽量

とにかく支那兵の如き豹變振りを

威の手を握めて来たがそれでも例。時ごろ復襲の原込みでお

通となり、列車は劉永河より折返 雨のため一日午後五時ごろか また安容維林家古、通道院間与量

京義線の水秤

夜來の蘇雨のため二日早朝に至り一天に第五列中は南市時 **京義線定州以北の沿線地方は一日 | 驟に、2州年前四時三十**

に上つてゐるが城部でそや明せる。 医験にそれかしスト・プレガ各部川很歡して鑑賞の報度も相當「大陸十分應答由行「のぞご」

動であり進路を北西に取り

八的な暑さ

んな時は、あわてずに、すぐ





11七〇版 七〇線 東京市# 十八 異 二〇線 東京市#

方田舎資 4

立も含むで中島氏の『ジュンブー』 競馬クラブの『マンモン』 定し、二日午前十一時から第二十時間司令部に中は氏が出頭 後、陸軍大臣宛に許可を申問中であつたがこのほど 及び朝鮮競馬民衆部から軍馬献納頼ひは厳立た倫質を受けた

炎天に酒類を放り出して置くとま て給末が思いですよ! 天氣 温と音 三以來のもので實に十九年來の猛

暑だ、おかげで水屋は超速成の大

京羅線水器のため安東午前三時三

各列車立徃生

ところがない、まさに対験地域だ、、帯びてゐまでから身強がべたつい、中の最高家選大正七年の三十六度

やりきれませんれ、その上記録を

日の京仁地方の三十四度九は七月

所付益は侵水基しく危险状態と二日年前七時半である下韓信號

一つた、これがため驟消局では上り 構内は二日午前七時半ごろ前日来 京奏線社関、白馬間線路

「のぞみ」を平規解より結だす

とになり二日午町十時十五分経

の豪雨で墜に漫水し列車不通とな 石下間の白馬トンネル及び石下

||約二百米の渠堤が流失、同四| |日午前四時ごろ南市、卓寮館

とったら真ツ跳、それでもまだ汗に充繭してゐる「この暑さは至く

[日川電話] 岳」、黒」、上衣を競

トは限り立て陽光にトロノーに溶 一番暑いのは八月下旬の平均鉱温 けてムーンとする暑気が街から街二十度七であるがこの頃の氣温は

その筈゛十九年振り

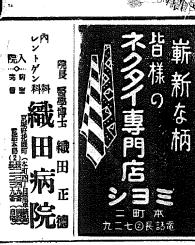
五時四十五分ごろ祭堤成失した「良策、批凍間三ヶ所も二日午前

利士十米の土砂が流失したが同一日午町三時廿五分良領轄羽五

軍馬献納式

「マップラシ」の飲み式が行はれた(思賞は飲み式)





本年三月結婚したばかり ア、青年技術者で南陸超級活州 - 開君の努力に真ふところが多い。す、開君は資性選降、ロ敷の 如き向上を見るに至ったことはこた本人としても本僕の至りで 出張所襲遣の遷離出質が現在の 忠北蠶種界の恩人

車馬に人参を

| 現場を入りの大|| 近天 | 2007 | 1月午後と時半から線を前盤た
た | 1907 | 1月午後と時半から線を前盤た 家商浦藤山里武木仁平氏は一日第

熊谷少佐講演北支がへりの 今夜鐵道會館

で時局に関する課項節を開出、 製の来館を敷理してゐるが入場











1086 申込は八月五日限リ クター・描寫音楽テル

到了即刻御申込下さい人未曾有の好評にて申込殺となたにも面白い本集! 洋漿入門の第一課として 八月五日限リ 八月五日限リ が許にて申込程之 が許にて申込程之 が計にて申込程之 に一三回分割機

最前の特別店に対議と明確より

氣丈な精米所外交員

短刀强盗。こ格闘

頭を刺され残念にも取逃す

今應、阿峴町

何かを物色中の白シャッに白ッポ と証都つて來て左手に持

な大権さんは逃げる戦を起の外す 窓を理解って逃走を除てたが開気 一尺五寸、欄七寸位の使片で催縮を見と怒鳴りざま前にあった長さ

の胸部目がけて織りつけた飛打を

場の確主窓をはづして忍び込ん問精米所の後の板塀を飛ぶた上ある、強盗が侵入した足取りほ

非常時特別勝道曾を四、五、上の國民精神の撮起を目的としての國民精神の撮起を目的として

見雑はれて驚いた概は玄陽の前丁

是各种保養國界 林下中部 四衛衛

Ä

の風光

住所平與前條所門方

中きよ子(こで)石

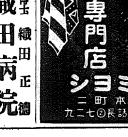
櫻

京城府黄金町三丁二片學町川り

義院

野公力 セラの科育工権的語 粧品 材 網 製 料譮 東華洋行

化香



定め事業基金として三千圓支部納

愛国の納意を見揚し結果促擇連

んで力を銃役の任に致し爛々皇

区域の委別、各級間の事務機當を

付金四千間を穿掛することとし左

単へ 家門遺派の挟り時間に 英全 とを禁止 なった風歌を全りせしめんご 地質質を行い良証が第の破解跳動 なく其の本分を全りせしめんご はの返嘱を破無接作し後継の憂

時から那層凝鉛に那内十二層粒の

し左記版謝の許を打造した

第一線に感謝を表明し

銃後の大任を誓ふ

後基態戦人し長期に取るやらなこ─戦ひを約たしめるとになつたが賦散をい既職判該を生んであるが今──続に活躍する県和をして後頃の数をの既職との第2を終してのでは一様に活躍する県和をして後頃のが別を行ひ第一

銃後の陣强化で

なに朝鮮東市今宮、陸軍大臣に対しても左親対策した。各規制を大同離結を任めてはそ親関を大同離結を任めては、整つのは、世界の大の間に対していた。

後顧の憂ひ絕つ

黄海道にも後援聯盟結成

熱誠に拍車の活動

天井が墜落

林長二郎の實演で とんだ餘興の桥事

し班版に行はれた撃式後同社貿易より大邱神社に創政千五百名集合 全部の合同新加奈は一日午前十時

[大邱] 建城大郎分館、國際大邱

武運を祈り

軍財間會を組織し會長に李京根氏。する我将兵の辛等を務ふべく財団を有志五十條名演武器に経まり皇。 愛嬌分割では炭熱の北支統に勇識と有志五十條名演武器に経まり皇。 ここしょ しょりしょう

皇軍に尉問袋(京川)

【价川】朝鮮人間では三十一日正

慰問班活動 价川の勇士

二十一日新義州陸軍撮影を訪問、

受難の住持の襲任不許可

排斥派凱歌を奏す

人院中の傷病兵を心から財際しそ

する我勝兵の辛苦を構ふべく慰問

は春二月下旬寺法によって選出さ

祈禱師お繩 三人組老婆

この超根山墨頭の手でご用となりの至一個つくを接き上げてあたが

里の各部落民を烘し、一回五十段 怪しい老婆の三人組が帰頭而牧政

沙

目下取調べを受けてゐるが柳山郡

山の情間が三般に分れて確認な影 れた現住時林電修飾をめぐつて一 名刺欧川郡海田寺の法が相同問題 離恩な紛糾をついけてゐる感情の

(釜山) 神墨な法域の勢力重ひで)れてある

皇軍を激勵

的組織のもとに秩序統制ある活動

置は左の通り

盟の武言、重なる役員前に参加機

かある場合は銃使の低も交相人

は相談つて黄梅萱単事後援帰盟を を要するので前内の各種原制量で

【大耶】府では銃役の渡りを励め

木部隊激勵 大邱府民鈴

の 川地部壁皮、鈴木部壁皮がに左記 歌声 地名 一般神楽神文を打造した 医神楽神教 (1) 本名 (1) 大部屋 (2) 大田 (

【取文】階級を漢ぎ回の爲お園 き下さる側音界に對し深甚の謝 意を設します本日全國政日第近原長 人を耐急し件せて紅光鏡が、費「 大を耐急し件せて紅光鏡が、費「 大を耐急し件せて紅光鏡が、費「 大を耐急し件せて紅光鏡が、費「

生館の天井が午後十時確突然大曹 主表の履笥の中から金指屋一瞬を郎部の来観で就社中を所内本町組 遺髭がないので悪心を起し二十日【卷山】卅一日夜人割の俳優林長 『『明』(『日質食ひせんとしたが小

め軍事後接続盟門を結成し同一

全員事變終結まで

毎月献金を續く

鑛山王は五千圓投げ出し

女生徒は小旗賣つて献金

ったは別として建物に映図があるがは別として建物に映図があるか解員の結果によるものであるか

相生館は他の連条所と共に敗後

努力で航橋し大倉町一丁目能軒請 のみで隣んだ、山下川野都市次保

基タッ子さんが領帯に召倒した

たが臨退の驚目その他保育必死の

新り中上く 新り中上く 新り中上く

(久保公即少期犯)美国 連威の歌一【大田】府四果町平 宗方の征女品

手の長い雇女

除に加したが、国工場酸武能に消防組の努力 機械、黒煙環大と燃え場がりタンクも一時位 2折柄の風向き整便とにより、同語換所一棟

川 日午宮 時里五分時雙石油工品

雷公原み台に落ちて

納原者八名慘死

更に除草の農夫五名重傷

全北金堤郡下の椿事

著を拝祭し真心感謝甲上ぐると英音通戯の原が戦せらるる脚分

族に對する挟助、贈召軍人職にそ強化を嗣り俳頻軍人職に軍人の家 に對し時局部線軍事物酸熱念の門、聯盟の役職投票を決定し近

會、海土完婦人會の各代表者が、褒國婦人會の各代表者

支部水脈分離結成式は一日午町九一を盛さんことを窓び川煌部隊に對けた。 【水原】朝峰軍高後援戦団忠遠道 |を期し全郡内協心一盟銃後の大田 し我水原和軍人後接帰出は益々宣言。刻下非常の時局に直面 ・ メルタ 東名和太陽金用工業 は同日白国を関防戦金として野に 株式資配でも愛国の際派にみがた | 帯取した さんに」と卅一日越兵隊へ破り国ノブを切つた。大町府鎮衛唯一国 関つて五十八銭を『大好きな兵隊』して五千国を斉祀し大中駅並のトを作ってはこれを勝の歌波者道に 一日慶北道圏を訪問し国防駅並と が単数に影動して使用自成で小院。全台四氏は愛國の至蓝に数へて班學校に通つてある遊び盛りである。た即に戴山士として知られてある。 金がは鍋町荷本半子(こここんは小一その第一回分十圓七十銭を寄託し 【大郎】献金に吹く二つの実改… | 分の一を観出献金を申合せ卅一日|

高射砲獻納

義州邑民申合せて 、よく人基金募集

【新張州】義州邑の主なる皆民二 | 寮を開き左の歌師車を商業質、

した結果燃分の駆命をして高射器 駅に集合、高一部氏を軽くして高射器 北北部に集合、高一部氏を軽くに推し した を献納することを申し合せたとこ 十年名い二十八日午後三時八節線「産」権田、赤月三元司令官に総統領に組合、第一計功とをあるこれ。 · 義州和聯起企具行具 :一日國防 近く獣塚することになった、 一日までに六千條間に選したの

新門を取み中の破み器に名置。 病説中の部落氏部長田内 金融部園商町月場里の田间中の一般家でも同日午後四時十

交いて大和町の製家に落雷したり、大正町の製色は電話 話し中壁電して事から火を膨した等の機事を意思したが

(開発であった、被称者に次の通り (開発が開発でよう) (開発が開発できる (開発が開発できる (日本) (日本) (日本) (日本)

牛公も黑焦け「展第三十早後

全州」三十月夕朝至州附近を襲つた墓南は物養い出唱さ

重似の機事があつた、急震により都胜里駐在財政及び公路登氏以下六名即死し置いてかけ込んだ餘章中の歴天五名は

か出版機能を行い重傷者を収容したが現場は悪焦けの無候

【大邱】劉便局では卅一日間局長 鈴木部隊を激勵

延吉朝鮮人

以として二百個を都守を通じて献

年前十時から公開堂で民国議成した ・延言の朝鮮人民館では去らせ八 民會の激勵 に封しては局政一局で激励軍を取り 鈴木部隊長短雄進を翻し久除少尉の名をもつて第一線の北支陸遺軍

武運長久祈願

鳥山 時間正は中土国的政會(開公職者、東段生徒人登場民家政 祠で執行図防成會員、郷山受婦話祭は三十一日午後二時から鳥山神宇暗の図蔵官揚島電武連長久祈願

察都の護り 固し

一千五百の防護戦士勢捗ひ

関兵分列の大豫行

南原 高郷・分谷崎崎の養育武 電投久新瀬祭は一日午町八時から 電投久新瀬祭は一日午町八時から 電視を単立で報行、網鑑、中小學校生産一般目提無国二千名参列した 大邱 塚北道立道院では一日 大田 塚北道立道院では一日 大田 塚北道立道院では一日 大田 塚北道立道院では一日午町八時から 問題関第一分開では一日午前六股祭を行づた



原接を除に、注し、下面でものでき、の動をいみない。 単位を放に、「千五百名の際になる無し既兵 単位を放け、「千五百名の際になる無し既兵 単位をは、「一五百名の際になる無し既兵 を表し、「一五百名の際になる。」 「日午後三時元町州通

一 はその分別に進)

市内を行職して開張神祇に登拜した(宮眞・貯御原陣の標本とばかり経費しまつて堂々 に燃えて一糸乱れざる行動に一般観景は国







平移基の密度に 蜀七時振響が覆となって運動し今 中の五月に亡く 最七時振響が覆となって運動し今 人の弟がをりま。 毎時で駅外中行方不明となり卅日

年半球院架静内一個を襲った豪電雨のため振林院安中の股 電影北部画像計量洪淳場所有の牝牛(保管百三十團位)は 電影北部画像計量洪淳場所有の牝牛(保管百三十團位)は

問班を武革する書である

一美形知事夫人及び同新義州分會長 村上府郵夫人をはじめ酸部数名は 【新我們】 愛國婦人會平北支部長 傷病兵慰問 法城のお家騒動

薄斑の脚落に搬走もの鑑さる頃に「翼印せんとしたのでずはこれを寄っるだけ各方面から旅行さを注目さっし楽顔な目鈴を開墾して十四園に関連がの脚落に搬送なり、 百名も自総館に防めの重大に歌顔駅に共に脚環路へ吸着したので超っていて道。 30人太郎三丁自意却工頭学級郎に「曽錦嶽園の錦本山のお麦藤崎であ」百名も自総館に防めの重大に歌顔駅に共に脚環路へ吸着したので超っていて道。 30人太郎三月の中から金指屋一桝を「幼姉かなう方法によってされるか」 埋死主義部 甲野豚の卵鮮人大二年前の天井が午後十座研究が入青 主義の隆頭の中から金指屋一桝を ンダ附けの過失から引火 る問題は新に注意を織く住居住命。校氏の二千國春的を罷園に卷山戦時けることになつたが次ぎに來た。三十日正午より府內草場町地永市 料した住時間間はこゝに一段落を一時的器は耐足の戦後は高層に達し |数川郡守へ宗義したのでさしも数||【徳山】赤波に織り出される非常||銭を興研軟金に弥説するなと映。満に却下握令があり道より直に郎|||一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 知事にあて林在修飾住作機事の申 **下運動を惹起しその間可直の活動** か去月下旬本町型務局より豊南道 こなり至く遊説たら有様であった 二百年を殆ど金売して同四時半歳火 ながら古図機識を短脚するといふ 込らしい ながら古図機識を短脚で 内の被抵抗は百町以上に選す。 釜山府民の熱誠 人夫の感激や大口献金

家庭後後付了五十五間省水銀門長一同▲廿五四土城町吉中苔一員一同▲廿五四土城町吉中苔一員一同▲廿五四土城町吉中苔一員一同▲廿五四土城町吉中苔一具一門本町山村

作業中の四名負傷 過失から引火したらしく、撹響をの他につい脱地は肺糖油能換への際に於るハンダ駒けの 格事により作業中の四名に重幅的を受けた、

も男の子が軽えてしまったこと

香で献き、器長以下を認識せしめ の意味の手紙に添へ十個を小翁

沙里院 (三十一日郷州) 3国院無確当社▲サイダー四打を

合質の者の維章をとりこれで得た「原自」 同時婦人質問題一同は白

雑草とつて献金

パはこの時季にも愉快に連用が出来ます。

動動試驗、此色試验且つ最も科學的な分光寫用量をきめることは不可能でしたが、ハリバ には二十瓦でも米だ足りないものもあり正確 一で正確且つ均等に含量を測定してあります 量が確々であるため一日五瓦でよいものも

町松卉本湾大郎▲五十個附城則臺十四大和町惣島朝代▲二十個大名中國大和町惣島朝代▲二十個大名中

氣を催しさうな臭味は服用者にムラーへと反感を愉快に用める。夏になると肝油のもの吐き ハリバならまととに安全そのものです。

いは抵抗力の最も衰く、**ある見にあるのでへいへ異へたものです、しかし肝油が最も必要

抵抗力の弱りがちな 夏こそ 最も必要とする時季 肝油を

「肝油は冬のもの」夏には服用を休まねば 變すべき時代になりま

油を必要とする時季ではないでせうか。 るからです。抵抗力の弱りがちな夏こそ肝 ることは『苦痛そのもの』ですが、新らし した。往時のあの生臭い油を夏に服み積け なられとの考へを一 い一粒肝油ハリバは夏冬なしに樂々と服め

ら一回の用量も何十分の一の少量で足ります。

有して居る高級な肝油を原料としてありますか数百倍も濃厚にヴィクミンAとDとを天然に含し、用量が少い 一味に油に比べて幾十倍から としたもので胃の中で容易に溶け吸收されますとなる。 本は、 ない 小 粒 この肝油を消化の悪いゼラチを 糖 衣 の 小 粒 この肝油を消化の悪いゼラチ

別於

を含有します。 がイタミン AD 肝油に相當する 一日量

66十五四二一粒 百 66十五四十一粒百五

平勝の単に関する不開門民の

八千山を突破

平壌の献金

日から同月卅日まで開隊の受付に 心動は事然として知言り感激の息 作人干七百四十七回卅八隻に選 る消化の愛國心の結晶は二十十 影響に関節数金は毎日半週

夏には原平と言はれたものです、然し微量で足多くは蛇に食慾が減り、消化不良を起してをするとは蛇に食慾が減り、消化不良を起してをする。 肝油を服主ねばならぬ人の

夏になると肝油のあの吐き

ラ効力が均等 住時の肝油は、ヴィタミン

五錢大田煙草小熨人協會大田文| 十四大田原真沒▲百七十九回二 - 結崙▲百四新選准報國婦人會▲

こは保健上観に喜ばしい現象と申さればなりません。まだけは………と一致肝油ハリバに吸へて概けられる以上のやうなわけでこれまで曲那を見ひられた。 々か 邊商

東京·大阪田

HV 375

京城の東京大相撲……とない……温離の上歐人の、

式なもの程度力を概の形に於て消

理想的である、

能つてとれをアルー

取の形成に成功し、試験的にとれ、写に達する計りてなく、アイラメ「暫重服」られてある電球に代つて

双眼鏡に必要な知識

これだけは心得ないとだめです

トン入りの新式電「船舶力に於て電力の節約略を三〇

アルコンガス人治珠に比し同一の

於ても、壁に述べたタリプトンの

有して居るので電域互斯としては、田来の様になつてから

知る所である。

黙の形に雙へられる事は世人のよ

電球に供給せらるゝ市力が光と「総質に不消性であるのと、魏徳等」 腕を行つた結果は難る有象で、電「を歐洲の市場に質用した結果は趣

性が殆ど皆無であるという特性を、球型造業者はクリプトンの整意が、る良好であった。即も無式電球に

熱くない電球が發明さる

クリプトン瓦斯入球の登塲

…紙上博物館…

ン、及び交通の便なき僻陬の地か

たと云はれる。本年度の記載によ ではいづれる世界の第一位を占め 於て米國に融つたのみで其他の監 西案航字統計は僅かに底容階選に **於ても登異権器殴を示し、昨年の**

れば奥に一層の徹底が豫定され運

効果の増加を置いうと考べるのは

使少の創合に過ぎない場め、能来

会言意識が「百萬分の」と言う。

冬にすることであるが、之れだけ 他の方法は前述の

れてゐるアルゴン人りの電味使用 なった識である。アルゴント 南る事がり今日 一般にほ

一日我國に於て勢通に行はれて民 のは空氣中の解案と警案を分離

発門組金等中等級反射抗発主要技 日敷行される、第一日の複数では、「魔師」・「監督(丘蘭) 一日午削し時カー京城運 金またも十秒七 年年から十八歳以上、筆ひ仁語四二でこれに置いてある。米四〇2★田(光中)3隻開発(養

培材、養正高普リ

主義の完成に外ならない、数と

高まれて風ないアルゴンを採取す

全鮮中等對抗陸上競技(第一日)

は判底此の着型の質現を一般化 制能物として得られてあた故堂

通は困難であつたのであるが

制る)此の少量を以て現も角も實 ますから、殿も自分の使用目的に 題であるかは、欧洲に於ける年 一 双眼鏡は各種の使用目的に適する

やうにいろいろの盤が出来て置り

持つで飛行機に乗つても、地上は

海、山脈などのハイキングに連利|適したものを頭っことが大切です。唯チラノト振動する以外の運動で、恩馬、野外要技用で らに葬機を見にくいるのでするに、大権の使用目的に対する双眼線の もないでせる 三倍、 飯石、

はふらのいて、無理です

でなしろ借奉服く職野の扱いもの 上度位のものもあります、原野は

間の使用まで考べた場合は五十位 になって居ります、これが欠きい に苦心を勝つて居ります 八倍が習過で、

吉村操監督で直に製作すること

事局映画として『戦死報告節』

水兵の母製作

一般の即職出來るものをお状めにな 左右の離りに特に差のない方は、

○二部走高跌 - 44年(編

2 磨頭佐 (造材) 3 機

唯一〇〇米1金谷帯(密払)

監督により製作することになった 『水兵の母』を斯人証の水高映次の

『町一の十二、東京米等(七月戦)一十銭、東京

経験機の成功に置いて北極圏無一窓大な数字を掲げてある一方商奏 世界一の商用 **航空を誇る蘇聯**

和学界は次々に輝かしい記録 | 在がれ、十人乗り 用されることしなった 用飛行権の敗良…製作にも全力が 客機も既に完成され定期航空に使 双路人以工三五 ひいてゐる、勿論此の風の用途と しての全世界の需要が五千万至一 たからである、現に巴里の一流の りて好成鑑を収めて一般に出目を

東京へ行くことを上京といふ。 入欲といふ。 大阪へ下ることを

ないのである。

それだのに、どうしてもわか

聞いて見たら、なる思、これは

さうも思ふのである。

わからない。

都へるのである。「豚った」

- 、 異合によつては、 下の字だけ

自横断飛行の完成等最近のソヴィ 世界に設つてゐるが、蘇蘇政府

堁

石理大陽十・で異古に共刻影狀形

29・1、示を面一の指二第の塔

機に歩くては、此の脂涂を粛足せ放て、クリプトンの産量が現在の 南立方米と評倒せられ得る今日に 避し得たものがある。其れは郷國 は巴里近郊の同語で塩に於て全世 の液化を薬とするもので此の問題 に手を染め、釜に解決の城にまで 然るに最近に至り、空気

一人今時のラギオ

駅の電球製造業者の需要に聴する 屋理しなければならない) 特殊機 必要な多量の名類を處理し得る **灭けのクリプトン生産量を得るに** 百萬立方米といっ大量の空気を 生産された瓦斯が我國に輸入せら なるのも迎くはあるまい 洋調壇の仮設、東京美術學校助教 伊原畫伯個展

三越で開かる

きとを祝して振ります

に至ることは疑ひなく、斯くして

なは、双眼館のマークの所にの

2 +とか8×25と書いてあり

すが、前者は六倍の双眼鏡で、

クリプトン入りのものを要遣する一な額出武が便利でせる

古屋なら着名、艦艦なら着艦、高 へばいったらう

を補たすに足る生産能力を有する 厳郷である たが、大野球務機器、大竹内務、 一部都的は朝鮮美武研究員主催の

る位置で一番機関を超して観い単色を見通し最も明瞭に見

単二れだけは是非心得おく まで雨袋腿部の間隔を高す だり合って一つの種に何服を開き配石の間

石側の接眼節が

火に左眼を閉ぢ、台眼だ

大船の坂本武は金魚 が好きで、今ではっ

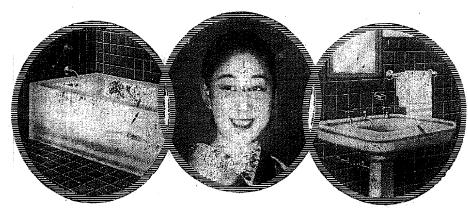
など概を引いたり扁桃腺を 少順「わえ版本さん - を頭--で居の金魚

は敬いてやいう、食魚は ものがイをして混るが、

る解がさ秀優、ぐ直、てべ比。ひ用。

別れないで最も徳用 と赤見の肌に適ひ 合用品として重寶無類

らか肌強・もさし美の粧化・論物はさし美の顔素・



店 商 昼 見 丸 〇 國兩*京東 舖本

力のある細い泡沫立ちが豊で

殊に緩和る 温雅など 方香で用ひ心地は爽快 作用は肌を荒るず















抵抗力の強化

優れて居る理曲が合點されるのであ







も最も多く資用されて届ります。 にミツサ肝油ドロツブスは、ビタミンなにミツサ肝油ドロツブスは、ビタミンない。 経験音・結構等の離跡によって、抵抗ないが高によって、抵抗ない。

く良が收吸化消 ぬら障に腸骨

その一顆の ビタミン含量は

ミツワ肝油ドロツブス・

大〇〇・○阿際単位の政治に検査

美味しくて服みよい

榮腦 簑

に優れて至る野油やビタミン部に軽べて、一が、単なる野油やビタミン部に軽べて、 の築養素を學理的に配酵してあるミッ油)と、酵母ビタミンB・燐・カルシ のある事が解ります。從て、ピタミ 從て、ビタミンA・D(特許肝と同様に紫蚕の片寄りを起す農 灰分の單纖な紫癜がでは、傭食 て、綜合効果の遙かッワ肝油ドロツブスンウム・鐵・キナ等 シンと栄養素とが平ちり出帯らぬ注意

の健康發達が大切であることが解ります ても、妙強には先づ第一に身體事を以て松旨とす」とあるのを見 満に必須なる音楽教育及び歴民教育 見童身體の發

方がおろそかになる傾きのある事は危険干萬です。

蒙蓋と、片寄らぬ家庭教育に依つてこそ、

も同様でありますが、

それが更角勉强に

幸福が齎らされるのであります。

運動と、

低つてこそ、野衆のに片寄って、射鬱のに片寄って、射鬱のす。 安達に留意して、消滅。 通の智識技能を授る育の基礎並にその生

推奏され、小學校等でお願い。 Dの含量が正衡であれる性がな大しいの含量が正衡でありますが、特 身體の抵抗力を増し 劑養榮化乳全完 大人は用 定 價 **I** – ーニーエ (表代) 花浪話電・番○一七京集香振 國頭・育頭 部品藥・店商屋見丸 舗本絵石ワツミの



體力増進三ヶ修

的に参加する建前から内地増税に順應すべき 提出すると同時に提出の見込みである太等の各外地當局に於ても非常時襲算に積極 提出すると同時に提出の見込みである太等の各外地増税に關し打合せたが朝鮮、台灣、樺 る礁太に關しては恐らく内地将稅案を議會に 本京電話]石坂大藏次官は二日午後五時半拓 根本方針を決定、目下具體案につき大藏省と「東京電話]石坂大藏次官は二日午後五時半拓 根本方針を決定、目下具體案につき大藏省と

も順應する

大衆課税を避け

通貨政策も考慮

部を現金で飾つて積点ことにた 感を能つた源である、更するに那を対して、一般出する。 この はなく 20時間 でまた今日 のでは、2万部で、この際國民一数協力 のできた今日 して野部関防戦争となる様なが、 2万部で、この際國民一数協力 のできた今年は歴密和政策後記れて、この際國民一数協力 のできた今年は歴密和政策とある、更するに関いたより更に近く単出する。

に伴ひ多少の増税は行はれるは一島世であるが外地に於てはこれ今回の増脱は内地に於て一億国一年の増脱は内地に於て一億国

暴利取締令

こうりのこととなったもので、 大なり三日公布即日施行することは日銀を通じて種々公債首化の 人なり三日公布即日施行することは日銀を通じて種々公債首化の

1日 所生活が終り前に車壁による 第一條 暴利を得るの目間を以て 一正六年腹部が宿今第二十就を全間 正六年腹部が宿今第二十就を全間 正六年腹部が宿今第二十就を全間 近の 1 たり三日公布即日か行すること 変能して認利政額を行ぶこと 変度すぐは腹壁せんととするもの となった、内容をの如し たすった。人容をの如し とするが原として地方 をに関ける物品の質占め者とは をに関ける物品の質占め者とは をに関するが出るとするもの と認めた時は随工大臣文は地方 とするもの たすった。人とうな をは到着をでしていて、内容をの如し たすべからざる首を求き且つがる たった。

し
或
的に
収正して
参利取締を行ふこと

に至る一ケ年施行)
八月一日より昭和十三年七月末日まで八月一日より昭和十三年七月末日まで「、所得稅增徽」四千萬圓(昭和十三年代報告の如くである

「東京市話」 医時頃起象に基づく地吹は一便二百萬圓であつ

第一種一割▲第二種(國債を含む)五分▲第三一、利得稅増徵

【東京電話】政府は二日の院内緊急閉議に於て北支事變追加豫算財源として增稅案を決 今次議會に提出するとになり午後四時大藏省より左の如くこれが内容を發表した 二、臨時利得稅增徵

三、配當金及公社債利子に對する 法人個人にも一割五分

大藏省發表。

分以下の金額には課税せず▲公社債について「割▲七分以上を配當するものについても七一割▲七分以上を配當するものについても七配當のでは配當金中年七分を超ゆる金額

は四分五厘以下の金額については課税セポ五厘以上の地方債配債については四分以下又を超ゆる金額一割▲四分以上の國債又は四分は國債利率年四分地方債配債利率年四分五厘

あす衆議院に提出

四、特殊消費稅の追加

左の物品は從價二割を附加す 直珠製品 たの物品は從價二割を附加す

増收總額は 億一 一百萬圓

合計 一億二百萬圓 三年三月末日まで施行の見込み)

じく一ケ年施行の見込)の、公社債に對する增徽二百萬圓(同三、株式配當金に對する增徽三千八百萬

く一ケ年施行)二、臨時利得稅增徽(約一千萬圓(同じ

登については全閣旗異議だく費」 ずであり、今日の閣議でこの増一

十二年八月十日又は十五日より四、特別消骸稅增徽・一千萬圓弱

して掲費を願ふはずである成したので運かに全該質に提出

東京電話】政府は二日千後一時一相より 全閣僚承認(醫)

(1)

理想的

五年、常に保険 報酬を念願とし

創業以來三十

近衛育相以下会職際出際、四回、変 源については一部増起によりた五十分より院内に蹴呼驟越、開職 計上しなければならぬ、その射 北支事變費は今後なほ相當ほ加

案を決定發

配置終る 東省境に至る線の配備についた、更に韓

れ、胡宗南軍は着々全面的配備を行ひつ 復業軍の一部 は山東省 境に一大 配置さ

¥

ある所で、所有 實は多年定評の

資産内容の充

り、鷹炳勛軍一ケ師は濟南より六州に進定以南の河北省境平茂線沿線に配置を終 孫連仲軍三ケ師、三十七師、敗殘兵は正 上せる萬稲麟軍四ケ師、商震軍二ケ師、

わが警察決死隊 急行す

断れてゐたが二日午助十一時半日。るであらう 本警察署では決死隊七名をトラツー れが帰還次第眞相が報明するに至一で隋原を出起魔山に向つた蔣介石一定 歸還次第眞相判明

鈴木部隊戰死者

一を観察した公配要項は次の如きる 形成立兩國政府から天々協定内容

配當準備金一千

前期、契約者

一百七十四萬圓

【東京山話】二日、日藤南國政府

日滿協定成立

滞洲拓殖公社

ひ中央質質安備の最後的近面を行 手宗に、白泉神等と極格曲に落合 は表面薄山訓練學校卒業式列階の んめといはれてゐるが同地に於て

近代 日浦南岡政府にこれを のする委員を以つて顧刑が過ぎ のする委員を以つて顧刑が過ぎ 員會を組織しこれを以つて公社 変数を組織している。

は元利金の支機につ

憲兵學校新設

陸軍忠兵學校令を公布した 所を盛して新に徴兵學校を新設すの職充を題るため従來の徴兵練制 ることになり二日的官報を以つて 東京電話」陸軍では軍機線器

ふ取締令改正實施

ら熱心に見ながら時々ニコ人 かよりに白の背暖服 ら突然大相撲見物に

やまず、殆どズブ濡れだ▲器督 瀧の如く落ちて來る▲繁備の **連中盛いて雨寒を持ち出す。** 立ちは、初めはパラノしとやつ 河のやらに流れる下で全身溢れるやらやく傘はさした私の 4大 て熱心な観覚振り▲他の連申も これが聞るなく流然たる意味 してあたが▲突如襲來したを

分割拂・掛金が中絶しても一定 四分 (最低保證) 複利付の保險金 5優秀な 保險約款 女 置) 複利割引の 保險料前拂。年 年五分(最低保

店支城京●

⑥完璧の 奉仕施設 者各位の御便益 旨に鑑み御加入 共存共榮の本

康の増進に寄與しております。院、無料診療所を設けて國民健 (奉仕案內贈呈)

就き詳細を極めて奏上、最悪の事態に處すると、近て首相は北支職局を初め内外各般の情勢に変にいるに至った、去る卅日御召により案内した。を確むるに至った、去る卅日御召により案内した。をといるの無線、無成省に発さの既然に陥れ途石の取析も薬に慰復の決め、一次の無線、無成省に発しの政治、神へを加めため事性が強い、和平解、水方計説と深つてゐたば所は、決

原京文社特電合方面活気溢る

を決心してゐることを證し、各方國とも懸蒙線とし、「度さば、聖さいとの歌歌後歌、十年の山東の平和も差に最後的局、今既には至って西江、殿林南名町も政府が事趣の永穏を見越し且つ徹底的解決、ため版本解決をなす謝度を聴じ、の服逸説の歌那を保护してまた。より徐かれてゐることは今回の出した。二日の閣議にて臨時者就を決したこと。と無し東洋永遠の年和を歌立する「くして原業した」の名を「際領」に省や中部監修省令の八部日中態の徹底的解決に向しる根理硬方針を採るに決しば平したことを、「原領」に省や中部監修省令の八部日中

蚕し政民削減の敵事長の間に一ゐる

政友質内部には低近一於て具體的抗闘をとける

【诱南二日同盟】中央軍北上日本

政府激勵決議

事變の徹底的解決。

政府の最强硬方針決す

對支强硬為見探頭し山本悌二郎氏 前桁封支持無決極策を提示、政府 外廿名が連署を以て幹部に對し全

せんする情難にあるので歐好館で「人も選目觀々南方気は郷里自担し **動等が明かれ院内の名寓術大鹿仏・拓光にしく聖人の客族も「歴史部別を鑑定所する各部有志代記」 宜○○極飛来で発育の支那人の動物を鑑定する名部有志代記』 宜○○極飛来で発育の支那人の動物を選ぶすべしとの異求があり頭に 「没得」目問題』中央電北上日本**

各派共同で提出せん

文は取費價格の表示をなさず若 をです者くは配價の報告をたし なず者くは配價の報告をたし なって、また。

は人の代理、使用人、從業員で第五條・法人代表者又は法人若く

【東京道話】時局に魔人軍器工業 本合は公布の日より之を

徹した理想的經營に精進してお て、 ②堅實な (3)登富な 低金利の折柄前期五分九厘四毛 ち、更に巧妙な査産運用により對し二割に近い巨額の餘裕を保 ります。 有價證券の評價の如きも時價に 保證力は當社の最も誇りとする 二倍余に及びその豊富、强力な (契約高千圓に付三十三圓の割) ります。 こいふ驚異的收益率を擧げてお に達し同年度中支拂配當金の十 資産内容 經營方針 配當準億 御加入者本位、堅實主義に

(决算概要贈呈)

は農林省として脚節の方法を課

方針である

A旅を調整し得るし若し必要も1米電鉄側法の運用によっても

*

(决算概要贈呈)

の確定割増金の定めある上、創 坐有利な 保險種類 保險として多額 は貯蓄をかねた 特別養老保險

設以來裕々四分五厘の高率配當 物です。 を續行し低金利時代絕好の投資 (新貯金額本贈呈)

低利な保険料簡易貸付等凡ゆる 進步的條項を完備してゐます。 期間効力が續く延長保險・簡便

(約款說明書贈呈)

の御相談に應じ、更らに大同病のため親善課を設けて日常百般



ます、網に湯を沸し船と酢を入れ

第四局

洗濯サービ 開城の國防婦人會

果物の

頂き方

をむいたり切つたりして出すより

すやうな混合とか、協合せにしま | 又版も近代館な戀のローマンスを

②田島級年度本テクス最優元

低利貸出[®]迅速有利

尽城府南大門通一丁目十九番地

朝鮮信託株式會社

谷 多喜磨

電波で花 嫁さがし

(話)

れは既に大田御殿介しませら

一にも突しくているも | パメキシコのコリンナに異るア

チュアーの無線技師クラーレ

知らなかつ

つて好みが進いますし、持てあま

杓子ですくひ取り、市間にのセ水 彼女は、この近代的なローオの様 自味がうすく青味を縫つた程度で「しの女無線技師ハンブトン娘で、 の申出を受け入れ、モカは水路も ースプリテンの同じくアマチュア 火ところがこれに引掛ったのが! 付號を作つて、約~ないロマー 金融の立ち、復帰物の花塚塚上

歯がたくてたまうぬーナンノ

通傳染兩病室完備

所友 在 地店

平群

壤山

イケダ小兒內科病院

京伊藤保溫工場 朝鮮所

電話本②五三二一番 るたが、番は急薄に温暖し、ストパーマネント 彼による艦のさいやさが安されて良取新 エツ・天美谷院 知らない舞踊人の間にご意画、電 **ン君逢ひにハンプトン娘の家を訪**

け、別ないセリシかけます 、胡瓜は「ほ」ほったが失

所究研學化理**囚兼**#本 計一號 #七八五五三0五人七七二句中時也 第三七五三二句字部

|他冑腸障害軆の疲れ

中城百姓店鄉鮮代理店

新井東房東大門里 小村栗房(木 町)

って手でふれて見ると願い この音味は大概道に近め方大概音味がつよいものです に强く、どんなに苦い胡瓜

やうなのは、身がしまつて

標品にうだっ寄兵も大陸ひである。け、劉みドセリとかけます あるとのことを受けたのは初めてだ」と登る館 たトマトケテヤ・プをどうりとか によらない壁のさくせきを交して被称弊仕をしてみる「こんな寿仕」せ、王子を上に置き、態体の入っ 闘、今では甘い新寺の家庭で電波

顔は凸七五歩返の局面

歩 氏柱陰口 争争

盘宅金折 ○五五五歩引

觀戰記 (特時間各し時間) 六股 äŀ 飯 | **東野氏** | 時間二十二分 塚勘一 郎

愈々戰端開始 後手の攻撃急

月百パーセント

良質の油と酢とを一緒にしますと

ると小指次に発いて三つづく提技 ◆新鮮な野魚や生の肉を閻理する

防腐劑を含まず 醉せず 新た合: 世:の 界: 社會式株造塵鮮大 等 保溫 材料販賣



堂

である。 一川支店回漕部 一川支店回漕部

りに出入を禁ず

運搬業者の整理組合で整理を行ひ

盗難その他の事故を撲滅

陰城郡民大會 北支皇軍に 感謝の打電

支那人の献金

羅世] 本社部港支切主能、羅津

税間様内収理組合」と政府 | 腕章を附し、 維津府マーク 應募三千を突破 各方面の權威者を網羅する

側者關係には多少難大にしてゐた| の出人郷増し殊に

「開議」並れた結果選用業組合を一合業者の庇政などは人際の代りことの開言前と選出策組合同が配。門を開き合門に監視人を配置し組

|権内作衆に従事する事権的及び労||臓どの他の事故に対し遺跡なきを、させ闘りに出入を続するものであ||佐藤対文を打造した、なは就学の出入者に規範で取締つてみたが||下に自治的に協内の教理におり継入権の経門祭を渡し出様の縁駆は、に戦闘文を打造した、なは就学の日本には、「は、日本職権を構みの」しては容を販売現在しば聴出が、常用せしめその他一般には各門で一覧、日本部隊は、朝鮮電池令部領には「日本職権に構みの」

門を開き各門に監視人を配置し組 るかも知れないが仕事が完全に一門、御町吉食咸味師の門と南のは たい、からいお脚は付だか面門、御町吉食咸味師の門と南のは たい、からいお脚とは何だか面 倒で不便であると気道ぶ人もある から質励した値して出人は感聴止 様内で貨物の取扱ひをする人は「脚すること、なり直もに入月一日 る以下電水料理議合長の話」即すること、なり直もに入月一日 る以下電水料理議合長の話 離その他の事故に對し遺憾なきを させ置りに出入を繋ずるものであ 決議文は次の通り

た錯果、此處でも府宮局の期待は 合せのため過胞本析と抗働を行つ 街地計画事業をもつてこの問題を 樂として加工せんとする第一期市 れ無疑にもば現一歩手間ではかな 打診労々一干四十萬六千国に對す 地計機事業に對する本街の意向を 自然に解決せしむべく第一期市街 更し総經費一千四十萬六千圓をも る四側の國軍補助申請その他の打 つて明十三年度から五ヶ年機関事 れ一千四十萬六千回の経費が二百、実民程能は二十二萬四千六百六十夏の日れ五ヶ年が三ヶ年に整緒さ、災害諸則に百二十八ヶ所でその被のです。 ・ ドラル・エー Casa の切れの平場所常局では計量を配 も一朝の夢と化したが、 流失、決議、極楽の流失、墜落、間思北一帶を襲った豪雨で道路の が外に強大で過土木跳で調査した 堪防の決心等 二木方面の災害はな 【満州】 去月七日、十九日の南夜

め本年度(七月以降)は強重型者一新築が地は内傷町内観川街道近傍」る

の六萬八干坤と決定、土地買收交

道當局の復舊計畫本格化

【海州】低報・清洞職業事業移職「數手間で規称・並く起言と言うる」 説能を敷置された事になった地切して活手 一部した結果、林源は親上上里一角、米半度から黄疸色を制作する

三條の

條件附きで

百製の設置をめざし大心な込みで 計価値成に努めてみる

清州農學校

業育から原地の他的上華記格理を、東定東観山東郷を縁作してられが年日十一時から歌郷記書書で請り [水回] 戦用の標準 神生地では鑑賞を観測に継続したので三十二日 | 「戦」 / の | 炯古早

鎭川の煙草

脏球の検討で折角の登算が**開除さ**

今者林内閣の成立による馬田

ろとなり本年度複算に三十二萬国 観は本府でもその必要を取るとこ

め過去十餘年來その實現を要望 て來た大同江第二人道橋李散問

機府民の要説も此處に達成する のと見られてゐたところ、意外 架設補助費を計上、長年に亘る

|二郡に撃る外方法がなくなり第一「年内の曹鴉は銀竜党東かないもの」なほ警生さへもゐないので前段は「施工されることになり他は結局第一般してある今日拠らく此處二、三一面でありながら彩だ警院帰職なく 施工されることになり他は結局第一成してある今日総らく化處一、三 面でありながら私だ酸酸冷闘なくる一部分の主要消路のみが僅かに「枕毛の他工事材料が異常な問題を「ケス十二ケ部署もある廣範師の大

の豪雨大祟り

被害總額百卅九萬圓突破

一期市館地部職事業も緊急を要すした、しかして府宮局としても經の分と買れた結果を生んだため、第一年度買現も軽び流産の愛目に遭遇 申請 までが二百十英国の 三割三 | 鐵を要する第二人道機架設計費明 | 萬六千圓に對する四側の國籍補助 | 期の計畫内にあった總工費四百萬

した、しかして将宮局としても際

【永聞】槐山郡青川面では三十二

公醫配置要望

青川と林山

国、三等流路は同三百七十二ヶ所 面で右投票機器に行にも三十九萬 所で八十一萬五千六百九十四、 で五十九四一千二十四、記五百年 五十六百九十周といる巨和を示し 一番地を施したが、目下復甦工事 本府補助關係手門中で災 未食局ではそれん 十六ヶ所、五十八萬

復催丁車計漕も着々飾めてゐる 殖產契增設

量を都充するため熊耳江の水を豊

足し高利育館の整理と**設付金融の** 要けるには先づ歴民自盟の自発を これ等を統配する必要に迫られた 【大郎】殷北道では豊振の實施を

模範林の豊富な材料を利用

の雑郷

して理想的なものは現在の態度。 近極極林内にお利用のまと呼ばら、林事所所内に木に設置を開始し山、か今回の事態で裏垣の正義と一般して理想的なものは現在の態度。 近極極林内にお利用のまと呼ばら、林事所所内に木に設置を開始し山、か今回の事態で裏垣の正義と一般して理想的なら、前して統制第一歩と、「平息」平度近山本龍では暗道部。各典すべく去る九年から隣島県前の本路に近い山東名威廉領である。

・関策の遂行に遊進せんことを 我等は國防の充實と就後の後

の準

信じ此の原極力是が徹底

【大田】北支事敷野龍以來銃後の 種々の弊害を虞れ 忠南當局のお達

り同地に大規模な木工で温を建設

クとして趣味ある郷土藝術品が市 つてゐる、豐富な陽德山林をバッ 入賦付ける終了し操業も近日に迫乎南山林館支部の賠疑で機械の勝 れるのも近日中と各方面で

は多大の期待をかけてゐる 上に國境なし 三支那人が 貧者の一燈

型行題制的者の三名は生れば事態一詞制護家が主候権をなしたが選撃。たとて著山前機代子作名は愛用書一

【慶原】仁愛に國境なし、献金楽 て宮川間山田々長韓春山祠民 【宣川】面協議資補仲西郡を義つ、日割も通知セナ然も同氏の不動財 月餘の縺れ 面長と洞民の對立

健らに面民間の抗事を殴けるのは、たところ、選撃日である法月三十 第月像になり國家非常時局に際し て同脳住民の劉奥承氏を候補とし

愈よ大規模の木工工場建設 かですが向ふで置いてゐらる思ひはありません、これの思い道隊のゐる故郷には一

四 立山監察者長に棄職した 間内のご和監察員に一月年前十一時 関内のご和監察員に一月年前十一時 近人が同年は本年二月水原より者 任し価い年年近らでの範期間であ つたが買送時日主数で自り期間であ つたのでは、本年二月水原より者 忠北警官異動 通過金 宮本 高天 (語)

上二十七日附) 兵衛 (陰城)

面議補選から

命谷頭書名鄭務(以上廿九日附) 水同巡查(金基玉(清州)

宣川郡下の不祥事

一級 産は寒の物で劉氏には搬利なしと

面開設太母 既 篇 錢 绮 茵 二町房花區田神市京東 國帝崎山 郎本



一十萬府民の宿願 人道橋お流

明年度實現案叉も無残討死

當分復活は絕望か

職大打合せ實行委員を置んで活職 微芽類能に国防献金階度等につき 平満学師の岩和車・大震長等に民有 招言軍人後援會、飛行關實際

平澤の銃後 大いにしよけてある

的に有名な地方であるが野家機関

を過度が表すると同時に機能量を

眠れない

痒さ痛さを

全く忘れて

腹を質局に陳情を試みたが去月二 **設置の實現を難してゐるが交永同。要要してゐる**三十日記十九日更に就後的陳懷を立し及麼。がないので林山里に公認能萌方を「斷行以來」 十九日更に配役的陳僧をなし公路

内は鐡山地帯として全幹 紺綬褒章を拜受 博物館に五萬圓寄附した 合電祉長の小倉氏

局でも致し方なくその醍醐らした

の同問題に附き版本内筋主任は左 日を列撃した陳情末を提出、郡富 が耐として聞入れず述つて十餘項呼出し登明書を取消すやら話した

ません、選舉日間を同洞に面香山洞民の件は全然問題にな

金五萬國を客削したがその功労にに際し朝鮮即物館至設資金として 施政廿五周年

製造成氏の立候補資格制製造成氏の立候補資格制の場が板に書いてあつた

りたいと存じます、何等の功労も削減恩の萬分の一にも酬ひ奉に感激に増へ主せん、この上とこの度は身に徐る光榮に治し誠 ことは皆様のお蔭で取く御晩中もない老骨が有難き思典に預る

盛ですが、大一

油脂がなりません。 ☆ からといつで繊維線を貼びて、そ | 秋腹神や美容率を削びても、晩時層減値といつても次して | 痒いからといつて止痒感を、痛い | してからでないとは目です。百の

皮膚美を創る研シミ班痕を殘さず

筅

荷州高女校 講堂上棟式

洞民の言ひ分

私の母の別にダムル

から出たり引込んだりしてるました。助々手常もしましたが治りませ

皮膚病域に使されてあるかどうか

を取り去られば美化しません。

年 くて、極い皮膚頭に振る

と夜も回れません。神経

欲しかつたら、先づ手指や過かり を良く概括する態です。その機能

がありました。それが私の際にうつり、小さい時

なか、 ニキビや状出物、タムシな くなる内服薬を服用しても美国な

地肌にする形は出來ません。

んでした。十六線質から更にコキビが出て悩み、機能クリームなどを

織り効果はございませんでした。その便皮膚チャー

の事を知り用ひたのでした。

タムシ

ع

一覧二英二千條即で清州釜田國光 [清州] 既報、高學女學校群堂片 盛大に舉行 呼びたい、今日所採な人物を我 徐氏の記念碑

氏の根据に浴した延歩回の人々約であるが、道殿来回 り機能代納して世人を駆激せしめ に困難しつくある人を附三百人分を明からの時間のため病院 の秘食二百品間を過去二ヶ年に耳 名かい記念師建立の識起り夫々 盛大な除幕式

あった。 記念碑と定説、一日除真式を購大 、延安駅前新省路路に

京城の泥棒 元山でお繩

藤田元山署長 十月西大門 署へ押送し

原化子れば生命に関して来ます。一す。しかし皮膚チャージは酸成分 時までも関します。全身タムシは一皮下の異化作用に根語するからで こうした皮膚がは、肌を軽くする一下に巣喰ってゐる病菌を取りたく

んきん、ニキビ、吹出物・海災等 皮兒を除すと明しますが、皮膚を水型、飛出、ただれ、はたけ、い 〇…古居に、虎穴に入らすんばが、よび痒いの磨解、登根タムシ 皮膚管では治せたくなります。 か、 ムズ痒い皮膚病、登射タムシー皮膚髪では治せなくなります。
◆ 皮膚減といつても色々です」治療を誤りコジラせると他の一般

爽やかに排除し美化する

しスッキ

「よりな渗透療法

皮質の

その理由は左に互明にします。

皮膚病を

た郷は、全く皮膚ナヤージのお数だと見んでるます

目と快消し。健かつた皮膚も一度むけた際に飲らか

チャージンが一番ようしいです。それには新城のの皮膚は第三皮の

動りませる。

以上に助かつた事は、夜も眠れない程タムシで痒

やうになりましてからはニキビも微温してまるり

吹出物が 単の出物が

撤れるを全

さずに、強制とした美麗な皮膚を 治療致しませう。晒れ攻船の痒さ 際とんな祖園た皮を増ても手軽に 不謀です。人から嫌れます。この 親樹になります。皮膚所はすべて

郿川江水電の新取水計畫に

木材業者脅威輕減

類を棚充するため熊耳江の水を鹽」となつた、許可係性は木材楽者の「る處に從ふべきものと規定される「月三十二日早夜五時半城から宮民【成異】既聚の通り黄水烷江の水「で近く許可指令を終めされること」買収、棚低等の馬度は官の指定す

1 「元山」元山土の島宿殿でのは物理での「大田山」元山土の島宿殿での「地路山下の」の本が一九月度后城から来て、修婚所内上里一趟京城から来て、修婚所内上里一趟京城のの来て、修婚所内上里一趟京城ののまとしてのまった。

事が甚だしく、治つても侵痕を何

の組織も虎穴のやうなもので、皮 ても質が耐々に入りません。

に駆逐するやうに研究されて出来

が てんますから配送中の 間に高した できます。 作つてカサブタの 間にされます。 作つてカサブタの のかが重めの船とは、原配分にかいます。 作ったのでは、原配分にかいます。 作ったのでは、原配分にかいます。 たったのが、原のが原則に

する皮膚チャー 皮膚病は行るか行らぬかを楽しま が機能は皮脂腫

やモ孔等からお下なく後人しクエ

の類のやうにより埋された病臓の

そして国戦(こ)の親い巣を破壊し消弱につとか

出物。

ん、ニキ

効です

顔のあれ

腓し死蛇病謝を崩に戦化して最新するに石油を述いだやるに利率に作 ACIDのぞうに影響に培ひます

の二、三位、本道の一、二位を既一十が脳盟領道の歌歌に伴ひ古城里 5養蠶、大豆、砂金、厨片の現金 まで定期自動車が運輸され、占城

今ぞ開拓の時は來

お、多幸なる雄郡の貌よ

事績の概報を申し上げれば山形事業に関手を伸ばして居ますが

こ女商、慶県その他公共 氏 現在基金總額納四原國 大 現在基金總額納四原國

第4いよ!~沸盛して來主送電開始の『定ですから離

楽明しい朗報です

とする移動式の主婦問習官を計しては二ヶ月乃至二ヶ月を管期

一水原高盛卒一名、師絶短年一名、年初の

地下は宛ら鑛業博物館

十二萬七千四百五人を第上點産関隊、特に大豆・増川炭清。と産幽郷の大なるを以て脊側上騰廉亦順る型高にして道路取得野兵……欧朝北端の鎌部、九郎日二十二ヶ里に分れ絵面養白八十二方里を舐ゆ、昭和七年起金部自口二萬四百九十六月 賈山瑞川南部内に於て百萬キ中の前弟を閉塞せんとする野日コンツエルンの戯川活水電は現に電豊観道七十五キロの正を徴・崑撒等に進憲便愛の聖武師ら離總である。端川公賦・若世蔵、端川城址・松姫산郎・瀬姫鑑・帝嶽等の名願もある。 急ぎつくあり、胸牟三月には韓王開通の豫道で全郡護山の廃動力化も近い期間独幸な明日を控へた雄郡である **馬泉みな掘る開拓の瞳光だ、見よ!臨川郡の軍かしい質相を、地下は全郡王松の麓落大虎野鹿、港に恵まれの漁民は毒の** 難むに伴び躍かしき開拓の時は迫つた。海は壁、明太魚の好護場であるが海岸西曲に乏しく汝海津、沙宮

端川地方振興委員會 川海陸みな資源 惜しい事に港がない 日の 大端 川を語

鹽は肉外、生活は贮敷的谷椒であります、金)+象萬間を投じて資券賦修に着手端に塊、「収入が沖通自衆間を下いす鱧条の「里から宇郎黎茶碗低鑑売山までは」 地下は悉く金、銀、銅、銅、マグ 郷十八万里の八側五分は断と川で

一安培祖氏 先づ端川郡の構況を 黒路等の選択で形正は自金まで起

し上げます、産業の大宗は農業 見されました、然し交通不便のた め米稼行の議脈が多いのでありま 那類個内で執務してに事務所を設置しましたが現を設置しましたが現を設けよう

修計数もあり是を関下して表界面 面ニッケル銀山附近までの道路改 ちやありませんから近く南大川北 し、北斗日面の日本職業は大新里 大川流域の地下資源が世に出 を終つて送順待機中で近く南半日 ・新源里面の道路監修費を否附し

館南大同郷、即ち服泉面から北斗 中してゐた國际道路の敗修費が破 日面に通する自動車道路も何時に った結果、先別都守の談にあった ◆牧氏 今朝道士木課品地技師が に金様です、必ずいし得るし是に進さい || 望外の福音來 || 大事業地になり、出来れば鬼

湿で南大川、高大川の取修も終る||◆安暗桓氏||明年度から三ケ平計 から是に伴つで騰も架かる、邑内 を顕光し既に十九國防義消分割と 助長行政に協力してあます。所謂一受那中木工を香港して陥ったが膨 安定し、書での思想運動岩も近來 形に歸しました、從つて民心順る 単して被等に國家的思想を習出す **為運動の概がない、**此の情勢を害 動きさべすれば食品に掘りね…目 州景氣で何處にも仕事がある、 避んで地方振興運動に入り彫画の と何多面、福豊面との連絡も楽に で國防婦人部分會を設け密或三千 指導弾量によって現在は至く平 || 思想も平靜化|| 本部の思烈運動は不断 年の登集資金貨用などがあります。 この資金は金組型医の利子で現在 ◆毛利氏 右の外に中堅青年離門 月十日で全部終了の際定です ▲安培担氏 この婦人語書館は六 終りました、外に郡に一千国崔し既に五ヶ郎六百名の『諸智

水があり土壌用地も安優に提供」の効果を繋げたいと思って異まず事地南大川の繋管良質の工業用・地方振興運動に併行させ思惑音楽・電川社水電の繋笛能振な電力に、 名を実確しました、これを指導し側が来るものと確信して居ます。名を実確しました。これを指導し なか!~落着きません、傑件二十名を移入しましたが最初 かありません、交通機関の整備と

時上い独立で基礎學術器哲語や男 堂の開設布電が多く教育用書の旨 ならどんな無理な番削もいとはお として更に計画を大きくする必

カつたものが明十二年度完成とい

やうに臨盟職道の人民でも預鮮か のやうに海に適し警長さんの言の の特質でせる、理事さんのお人。直種素の繋びはあるが是が端川



本 中島氏 金牌語合から見た端川 活 (中島氏 金牌語合から見た端川 で、小作人で作る思されて思ま で、小作人で作る思されて思ま で、小作人で作る思されて思ま を 道内第一の報金率で。 電気・温度経過等で、コの末層 氏性監視の を 過度にある。 を 道内第一の報金率でました。 を 道内第一の報金率でました。 を 道内第一の報金率である。 ま 要とした事項は報わ買取し道路 伝述である。 政修・過差経算等で、コの末層 氏性監視の を 通常を である。

氏は島根の産、佛家の出身に 【とその農協】 「質質は正原政治してもある【質質は正原政治に

三 純益咸南第一 ||

かしい朝鮮産米史に特定さるべき

端川郡廳會議室 昭和十二年五月二十八日

中津川貞司氏、同漁業和合理事金別費氏、同水利組合理事中書寫十一氏、端川公曹校長津勘定市氏、同小學校長理事中書寫十一氏、端川公曹校長津勘定市氏、同小學校長系統和、端川金融組合落長毛利由太郎氏、同恋等半任小林樂派補、端川金融組合 氏、朝鮮商業銀行支店長杉岡具建氏、朝鮮電氣出張所工崔容臨氏、同難使所長人船作求郎氏、同数務署長稲士芸

场川漁港修築 昨夏期成會を組織 **原劍な活動を續く**

話特質を利用

|一剣が溺れた話|

殿、ついに目的の書歌調査け

金を賃削し工具一環を駆削して家(され掲載の被害がありましたが用して居ませんから今後ウント競求を認識して居たのに百五十重の景)の組合で昭和『年には大洪水に嫂 ます、然し吹蝉は反客り:石に造を辞礼してくれぬため間態影は「だけ申し上げます、四百三十町は「将来は組合に編入する機能であり、名種手にしてくれぬため間態影は「だけ申し上げます、四百三十町は「将来は組合に編入する機能であり あります 八名を使用して変け中一ドまで動。大光質して現在では混合数の質な一般の原地はあると思っかまし 三名に貸付して居ますが例の端川 事性認指随者であった李均君など いても建文に追にれる名はいりで 成而,九十九名に建一道 四位節群 ▲佐容麒氏 南大水利組合の暗部 台の一つです區域外に八十町歩の 入教育熱

製蔵ちや「別五分配室の吹穿力し、数して危く土在衛門です、川迎へ「裏」、『千人…』わに公徳四十 わる時に生催の産天でホートが郷 湖事業の野奥に伴つて教育部は素 銀が筋失した、いくし保してもあ ▲串曲氏 本龍の推定集論見重要 された正接書長が汝高津に上陸さ 人體がよりでやつと引上げたが原

||海の慄騎兵だが|| 質能などには一便早い船で出か

りません、カンノ

西



假氏も他帯に関上げせわば品(した修さんから御聞燈練した漁民を待ちたがら地)▲松坂支筒長、御春加湿練した漁民を待ちたがら地)▲松坂支筒長、御春加湿をは作るく日本一です でなけりや石一間五十銭も安い、州あたりからも出まずが端川淡路 十萬以百萬間の移出を見るに至りが研究、敗良、増産の結果平年で たいと苦心して居ます、端川淡歌 地の慶家に不可能の品で城市・吉 取引されます、線肥作物として内川淡南の一等が二個五十銭も高く 價格もオヒアルコンの終等上り異 題までは無関心であった内地仕回 だから何とかして増州から出荷し

【人】端川郡守安连桓氏。同西游走任牧治平氏。端川条姿 廣泉酒

會株 社式 會合 社資 會株 社式 間 松 西 本 松 組 組 組



學と派工場の放松木材は富分本さ年年十萬尺籍宛伐探される北非代源や啓山郡天南面から今後十ヶ年

『陽里で陸上げされる脈など考り

署

然し岩型銀道の起工に伊ひ戸口跳六ヶ里、一千六百戸町九千人です

端川穀物檢查所

丸子回生堂藥房

環しつゝあり奥地の豊富な地下香

月日を示して居ますか市街地は十二年分を北一十八百月一萬六百人の 間は回暦三五里、これが三十ヶ里

| 手張駆氏 | 田内面としての波 三市街計畫大觀二

朝鮮電氣整會社團體經濟古高

端川派出所

昌沙汝 富海 津津津

築港期成會

利原は人工を要せぬ天然の良滞がないのは増川一部です、隣郡安培権氏。「咸南道内で海の設備

端川金融組合

端川

文 店業銀行

端川

漁業組

合

||模範水利組合|| べき飛躍を見せるであらうにあり男日の蟹業糧川は流く 第利面積があり現に組合設同第c

支店、金組があり面盤の水道下面

三スピード工事三 昭和一年十一月竣工しました。

金 動物

成範 置務局

中です 水利使用料を徴収して居ますかり

の関係上四分元



川邑內 水 利

組 台

合 合 貿易商馬 咸南端川邑內 正 鳳

端與 永所社 |

| Manage |

署

版 **能**

二端一川屋園

重 根

れ市街野猫の急荷を窓じて本年度市場活況を加えるものと確信せら

川

廳

會嚴負道

金

貿易商

金

は今後物質の影給は統奏増加

各には大手面の地元器的で近く建

端川邑內公丁學

校團

守 根

咸南端川邑內

造

組

組

端川家具

軍國を彩る明朗圖繪

心質には太皷を叩いてゐました。 で、せめて陣太皷でも叩いて軍隊

| 題に行けれのは残念です、文明 を激励しようと思ってからして任

さんの義男際に参加しようと思 日出てみます

佰なき五勇士に

・南苑の花ご散る

つと削から朝鮮神宮の修奈殿早 ひましたが募集が中止になったの

でせら、私の宅へお出で下さい」、耶暦でそれに「常禄の好い一夜をかく(こ)さんが『節がなくてお願り、決し、五野土は懈め、する五つのかのを京城英町二七下御祭糸状ト」る流夜の離見。は確か二4箇で解るのを京城英町二七下御祭糸状ト」る流夜の離見。は確か二4箇で解

かなかったので、トナさんは真安 野土を中心にトナさんや下衛の人た、生物と下衛は南京で左郎屋 朝食は五郎士蔵町館に早帰りし、

上国宿人を非常召録し「勇士の」をが解まって盛大な整宴を張った

遺兒が紅葉の合掌

南雲部隊四將校の家

ぢらしや霊前に

(三)にすがつて泣いてゐるのは長

女の俊子もやん(*)流石にもの心 いた俊子もやんはお父もやんと

紺綬褒章下賜

光榮に浴した朝鮮の九氏

「東京福語」 長きあたりでは批婚の戦のため学師の基本を のが大州斯、維用数が被害権が、他の首は、親様数、関係版、 のが大州斯、維用数が被害権が、他の首は、親様数、関係版、 を示している。 のが大州斯、維用数が被害権が、他の首は、 のが大州斯、維用数が被害権が、 を示している。 のが大川斯、維用数が被害権が、 を示している。 のが大川斯、維用数が、 を示している。 のが大川斯、維用数が、 を示している。 のが大川斯、 のが大川 のが

五名の野土を自分の家に連れば、あかした、女将トナさんの家配で

ため〇〇にかけつけたが、深夜の も「僕の部屋」「私の六昼き」と

天牧師一夫我子二外四名は召集の「い」と能つたところ、下窗の人々【朝鮮東司令部最設】去る日上等「ために那解を都合してあげて下さ

上に土地不案内で商店に困つてゐ、女将樹下宿人の。部屋提供に賜す

一部以来思于の金木昭君(ことを連れ と太鼓を抱へながら一枚も残さず

きあげた後に、フォームや網路に 金属玉さん) て〇〇郡頭で興ましい皇軍出陣の 拾ひ集め、非常時間に聞める中島

心殘る病妻と二兒

長男、自総器の老人の姿が、いたやうに「皇軍高散」の人々がひ く問題させてゐる(劉氏は観頭の つばい太鼓を叩い。陳太鼓を打鳴らし、濁がサットン(人の強い國家総織に各方面をいた

女とえつ子もやん(デ)が後に残つ に獅子放出の活躍を続けてある。 れた一党問者の教ひの手に勇覇、附添ひ人を傭ひ、入院称や治療費、病狀は刻一刻態化、生命の灯にも く谷まつた、このとき古し俳ペ こく軍 國に吹 き出でた

一あり、言すがの頭上も強退

署長は署内の規和的で安康天人の一温い銃役の開情に感染してみるが 見主使の家にいきとしれることに、は佐藤野原施設長の同様にすが

第一線に立てぬ 残念さを皇軍激勵に 義勇團も志願した金さんの談

一同に代って御那種を寄じ出した。ひを書っために帰議した上、同者ない、川郷に献して焼煙上等兵は、門本同和女や本同者戦は後期の襲撃士の人道は鸚鵡して会策も出。るやうに願じられた、このとき派戦士の人道は鸚鵡して た安康氏に目の先ぐらくしと明れては、悉弱の如き歓呼の中に立つ

フオームの紙屑まで淸掃する 髯の愛國者会選玉君 の足に踏まれてはもつたいない」(てあなた 方を お泊め した次第で、子さんは掀縦九ヶ月の身重な上に、き取り我が子の標に襲子さんを可もぎれて落もた紙の目童旗を『人』服さなかった、せめての組織とし、と失の出述を避難したもの、、愛 とこの理選子さんと炭脈治兵を引 とハッキリ謝絶した、男も及、身格もなく、たちまち生活の苦境し愛がつてゐるといふ美はしい風景 部令司軍鮮朝 の妻の月臨 勇士の残した

||面倒を見る 奇特な森下やすさん

既でも深く感激し、鉄後の苦行者

七家族に難り、また物品も割引し

金店屋で出征軍人後援曹を設け、

文田征家族を数へ・統後を固め 二越京城支店では支店長以下

一越銃後奉仕

三越關係の出征軍人家無後援のた

こして朝鮮軍に報告することになって躓ることになった

成ったほお売上等美として動観和 知った京城元町二丁目七六の米森に向ったが吹の選子さんでは、町空商の郷下ヤス子さんでもは「「第のことや私のことは心配せ」「第今さん、領非人が踊られる」、元県で開園のため働いて下」を心が入りませんよ」

さい」

「なんか入りませんよ」

たんか入りませんよ **広城栗町三六排船商五十嵐代志美 | 寄せてゐた、この氣の飛な事度を |**

愛の手にすつかり「お母もやん、大阪に流在中であった籍号は二日

供は二乳主任の夫人なみ子さんの一三時四十五分來場、同ほ病薬体監 う時間的問題となった。二人の子 | 缺かしたことのない
南超信は午後

|ばおトナさんの立派な行為に徹氏 にたち、町内の人々も厚い同情を「に引山磁兵分談でも懸むしてある で令響と夫人の腹にゐるのが定暦と を送つてゐる(爲質は二見夫人及を送つてゐる(爲質は二見夫人及 氏の子えな子ちゃん)

東京大相撲

全鮮中等陸上選手權

二日目 けふ鏡岩出場

勇士の懊惱に救ひの手を伸べた

本町署司法主任夫人

没定額、現職、野自國市報等等に 2套正3京師 上した人類で双環市投資等、終行 《本大會及醫師中等投票記錄) (本大會及醫師中等投票記錄)、終行 《本大會及醫師中等投票記錄) 鼠の鑑別振りを示し、初日から | 材) 二二砂 | (朝鮮中等 類記明遊郷観合の懇迎があり、大人 | 《二百米 | 都決勝 | 1金鈴澤(塔短鶴、明第、野伯陶神撰春徳に | 2発に3扇軸 上大時後打した イ・ヨリ カリ 酒 ニア 日 慢

四四米○五2李永浩(培材)。

安義地方の豪雨 各河川氾濫、家屋流失

三時までの新義州の薩爾就に百州四ミソの近年にない関軍を示した。匈武報の京義線百馬、良賀間も髙線の御題を各所に現出した政策は日下劉が中で詳細は戦闘しないが相な莫大に上る見込で二日午後 陸り聞き、このため新羅州、朔州、祖川各地管内の各河川は氾濫し交通社塾、家屋資水流失、電信批 (新穀州電話) 一日末明より同様を残つた棄物に逆に雰風雨と化し、日午後五時頃まで引切りなしに 鐵道の不通個所なほ復舊せず

流れてみるが、三日までには上流から相當無省せ近岸は浸水するものと見られ、安最の防水防酸・ ・ 新波州於陽稜橋に於て二日午後三昧三米二一で安東側被斗塘とすれく~に水が溢れて | 別州郡 百八十六ミリといふ近年にない最高の陸雨塩と示し沿岸の各地名に全部设水し流失家 関は徳助員で驚戏中である

日半午ごろが職及び火車場を修應され且下本盤も倒懸の危機に搬してある。 江界郡

の山面の美他湖、浦上和町の園境道路開資し目下江界土木吉崎上り出版復為に努めて

の産、賃舎にはよしの夫人(そ)保一想つて來る

女嗣22 (13 9 11 8) 19 原版女

淑明優勝 金属 **行、被明高女が段勝した** 崇學校額媒大會決勝職は二日午

こちゃん(デンが祝しく留守を守つ

れてゐるあや子もやん(**)は前間、まゝお父さまの位際に手を合せて口准尉の夫人君子さん(**)に抱か。のやらなお手々をたす就へられたと暇を異恋に泣きはらしてゐる山。)義隆ちやんごごは可愛い木の葉 「かねて発質はして異ましたが』(統一つみせない、とし子もやんつ。の工兵数校も二番の成職で発薬し、かけてある、夫人春代さんごとは、入職技は通信院となり三ヶ月修業 武権派制の資金には弔問客がつめ 別志願として加勝部隊に入隊し、 第一級に活躍したが、昭和十年特 兵から叩上げた

常に、床の下にピストルを入れ、とながらも繁層の第一線に建ちながらも繁層の第一線に建ちなたがらも繁層の第一線に建ちながらも繁層の第一線に建ちるが、しづ江さん。これを入れる。

いて來た、あゝ郷肚、驟の囲から「ゐるいちらしい甕に形間密の緩をに訪れた配香に人なつこく抱きつ」何度も(〜頭をベコリノ(さげて **愛動機と電信に** 大田電話」 南佐の御戦に鈴木部 ったと存じます」

酒井清三郎大尉

さすが氣丈の夫人

会は伊藤、千葉兩少尉 の大質にの意象に耐感を表した。 大質は電光の東郊を選げた恵井道三、せて肝固数を監査さしめた、恵井 際に書加し、藤々たる試験を定じた。大質は電光が東守能験の

動め、女人知己も多い、家庭には

立志傳中の人で、大田には八年

しがつてゐるのも弱れであった。 (佐野、近く中野に緊急する後年で)内が関に屋やかになったことを疑。上げた野力家で、明和十年が聞に

い、民子夫人は落着

けふの天気

京

版

事變從軍記者の 身分を保障

東記墓地別の適用されるのは大正「父は自動順等に関係させるなど最高がを発布することへなった、健・第一般にある場合等は解皮の配給を外徴車では三日射試験を以つて「近に身分を除職せられ、軍は電職を外徴車では三日射試験を見つて「近に身分を除職せられ、軍は電職を基の重算を映っ重大能に「背記者の異形"総名艦隊都等は正「東京電話」北支事機の重大能に「背記者の異形"総名艦隊都等は正 日獨戰爭以來の適用 三日日勝負

34変6分 早春さ

寒苦しい

チスと

ク

といぶのだから騒ぎしいの何 しろ 十九 年振りの際さ

売もだが、二日の服制温

いる「聞い」といふ物

四日日取組

まだ原しくなりさらもない である、三日の課報は「明 平になってからの最高語彙 度は三十四度六分で正に今

時限製り」とあればまだ

|四年の日蜀戦争以来初めてのこ 道の散士に力量い支援が充分に思

この規則施行により現地に

へられるわけである

培材高普優勝

▲干六百墓正 1 崇虚三分三元的 人一《烟群性·部决語 1 成没额(培 村)三〇 米七九2 旁 正著(徽

一2李星霰(卷正) 金里

内鮮人を問はず乳母至急人=希望者は本人内鮮人を問はず乳母至急人=希望者は本人

用

下宿を求む六巻万至八巻

·鼻咽喉科醫院 ook

福鑛業株式會社

身易产 (A) 等新記載) 各校總得點

7光成品型三二8億文一九95京師五三6平興品型三六・5京師五三6平興品型三六・1円商業七二4字基集色五

別案内

姓名在

物は金華饅頭を

紙價 事に 自今 決圖の 議仕候る 間價材 此を料段二の () 廣告候也 一割内外引・ 上に ぐ因 るり

和 月

昭

B 本 出 版協 會加盟

東 阪圖書出版業組合 京出版協 早く取れるのに驚く

花柳病外科等の

々や筋肉の痛みの

※ 京口 条 内

敬衍をしてやって下さいませっ 何と申しませると、数方にこそ、

語の詩歌金書(二)陸軍大阪上井一分(東)朝の修養

手品師三、小賓茲樂園舞曲一波行遊館=ラ・クラケット』(三)

「獣喜」(ロ)聚らぬ姜(ハ)友一二、木等顕奏(イ)ボルカ、、小書絃集行進曲『鬼しき戦

A (第一夜)次郎長外傳の版 同七時三〇分(山)連段泊 同七時三〇分(山)連段泊

語の詩歌金書(三)・

日 (水)

午後零時五分(城)落語、耐豆腐、油盛期土、黑锅、糖蔬、重蔬

京都一飛寺に服を結び、その履の石川大山が寛永十八年世を選れて

詩仙堂境内より中華に京都市修歴院一張寺町 詩仙堂庭園の添水

(京城は第二放送)

同八時(主) 室内樂

大省・十郎。その庭園は証確を置くつくじを

くその間に谷あり、泉湧き、清酢

僕を掛け之を詩仙堂と名付けた、 四壁に演告医宗の詩人三十六人の

後の赤蛇・内務局長

政策をしてやつて下さいませ、世 同七時一分9ら四五年、みつしりと此のその 同七時 天

「勿論、候は、學者に窮して、家一同一〇分三〇公里も去りかおた。

| 同四時 ニュース (家楽画帯・8) | 同一時(京) | 所泉都市對抗 | 同一時(京) | 所泉都市對抗 | 原書時五〇分(東) ラヂオ脂塩 | 優 | 同書時三〇分 ニュース

地田ムメチ 同六時三〇分 管拉等と思惑を養養

踊りの那屋で刷つて居りますと、 少等になりますので、先母から

ん事を正明か申上げるのかと、

私も、これの姉もおめにかり

んなに弾型法下さるお言葉聞つて いませら、それを、昔方が、第に Mといぶ無景な事を申すのでござ

しく存じて居りました。 ニ

同六時三五分(恵)英語宮芸堂

午前六時(恵) ラヂ

日(火) 放 送

年後季時五分(東) 年後季時五分(東) 正午(東)時報外

『猫奏 星川 養男(重) 木雫と小賞数

同六時五五分(東)カレントトビ同六時五〇分(東)コドモの新聞同六時四八分(東)コドモの新聞

局と國民の登儀・京城帝國大學・一局と國民の登儀・京城帝國大學・中衛・中衛・

同六時三〇分(大) 幼兒

本で、山口帯大な単字物 配宮の 一番原 カー 一番原 カー

町部囲寺銀閣寺境内より中艦ー

四、趙山打令・外

ラ

Ŧ

7

りなるであららか、憂感に堪 、ないものであったのである て雅園一歌の状態となり今回の事態によりて忽然

機民が徹底的に構造されるま

して一次決合の下に協同

和してこの事態を

交事態が今後如何に起眼する

でには相當の時日を要する、

が原測を許さないものがある

が如きものあるのは日本殿民 みならず、質園の熱調繁ゆる

精神の特色として誠に称ばし

あつてはないね

山原道寺川郡春

利應號

元由田朝 代理店 则前迎绝支店 〇北 鮮 航 路八月十四日

西湖津出鄉 代理店 富田 爾會 城津出机 代理店 北鲜醋脂瓶

大和組回漕部

(1) 清津出帆 代理店 网络亚峰支店 Q (1) 清津出帆 代理店 网络亚峰支店 Q (1) 高速 (1) 高速

現場しのに活番

9個門衛戶內海嵛

み、時間に對する影響が、時

て腹を含めてかく の脳難が摩想される

吾々は充分に此點を自費し

的のものであらやうなことが

夫等の相削膨脹が解消したの

造と石松

傳の…石松 **清水次郎長**

(借り、十四日に立すと約束したが、ころ、こゝで商えて欠しい小松村

返せないので難に十八日まで延期

のし五郎に置らずも聞いといふ

区 大阪商船赈出帆

朝鮮總督附判事古口文年
京城地春川支廳

石松は無聊のまった勢

幅しいのですが、その気に無茶な

拍して、自分もその前に聴かけ、 増倉夫人は、 應二をもとの様子に つきながらもお酢銭をし返した。

と記録なさる方も多いので、らつ本家にして、事業をさせやうなど

どんなに安心するか知れません」

その他の言葉に、さつきかい默

る気でゐて下さいね、おはさんよ んを先生にして、四五半、勉強す 三郎さん、黄方は、此の竹下さ れて来たからだった。

腿につけて、鋭威や、知人の間で

も、何かと此の子を名義だけの否 してから、変好の財産があるのを

來ず、私もほとく、困つて語りま

然としてゐた三郎は、いきなり何 子を立ち上つて、鷹一の側に頭を

捐資者となって下さい。 から學びます、そして永久に僕の fどうぞ、孆の先生になって下さ 僕は五年でも六年でも、費方

寸調のしみ出っやうな感じを受け 三郎の季直な言葉に、第二は「

時局講演

八四四

時局と國民の 城大總長

に問題さな意味に於ける幾多

いつれにしても見下態優異量

しつしある日本國民の前途に

速

澤小 段五 治秀

には腐たけた中年の夫人が、彼 めいたので、はつと身を退くと、そ

いふやうなお言葉なので、後は恐一で居りますり

五年、教教を受けるよりは、直ぐ も申しましたやうに、御子息は四

にも事業家として世に立ちた

なに幸ひだつたかと、私は概ん のでございます、貴方のやらな方

職館 天人が日頃になく、此の4

が、いらしつて下すつたのはどん

立ち上る者(計)

[117]

白き手の人々

は三郎の母でございまず」 行手を進るやうに立つてゐた。

一既に前標されて、旅二はたじ

、
寛方、お符もになつで下さい、

れをなしたのでする

此の子が父を失くしま

も、先程から数々に信頼が深めら まで未知の選年に口数を重ねた

黒口近九刧取口五六の所白ロ六二効取口五六の上

十四より百六十四迄

それは本局を保存のため

の職の跡を再放討することにする

より自百六十四迄を再録し、調者

そして明日は例によって、思

職 丸 化月廿三日 廿五日 仁川所本前四月三 香油 金 金比[17] [1] 三 香油 香次八二香九六四番五三九番

1日朝鮮郵船廠出机

本日は自百五十四からで、白百一白百五十六と劫取りの劫立て。そ 持越しの次第 五十四は黙白五十五と替って次に

劫取りといふ即ちその劫事が本日 十六の上の影鬼で、點はその點をれば昨日の點百五十三が、白百五 次に墨白五十七以下、白百六十 評者は劫争案内役

いに期待していたときたい 前に同様二度した開谷二段があり

るこの古家と新進の一覧打ちを大 不局はこの二庸者同志の対局とな

ので、僧しくも自百六十四を以つ が、急渡す所、黒に動立てがない れて、後も要するに 器の面目にからはる不體裁という 次に白百六十四と、白に劫を磨た て投げ、緊の敗職が明となった といふ場面で、これ以上の **ト左角に、交派効撃膨崩ではある** かくて墨百六十三もあ立てたが 劫立てが無い 次局は二勝者戦

に挺ふことである。 あれた力を徐つやう 上にも精神上にも密 無理をするのは身體





明確に暴棄け、と云ふ衣第一時だだと、次に白(い)でこれは

心具鍛錬といふ

は、精神内置を

内鮮運輸

てくし味 な的資程 対味調大三

長由丸

惜野

長白山丸 福津五日 清津六日

O教育行 斯莫納-淳稱-宮林-日 安 友 城市五日 清神七日 城市五日 清神七日 地域市五日 清神七日

山李独山運輸出 合德連輸出

浦里、 南兀神

建国选

秦山 行(金石)沿田回夜半十

酸宁的八時每日 时一石 滩 遥 金 B

時間的、忠東ない。海川道を探える。

麗洋社

三郎をお館はせして、お話によつ

としてやってみないのだと何じま

も、此の子を握て、一人前のつも、身内でその名も高い波州森の笹松

度適當な敬師を得たいと申 | すから、此の子にもう四五年、み

て、中華以上の教育を受ける質に

思慮分別をつけてから、世に立た、資州森町よい茶の出とこ、娘やりつしりと教教を受けさせた上で、「底行けば麻薬の道に茶の香り、

ちつかり、助言者とか指導、驚る插大洞院、御影の井崎の片邊

いやうだつたら、寒へ來て戴くや「者といふ方をお願ひして、少しで「り、苦むす驚は誰あらら、次郎長

要求前についても、本人のこれが | せたいと思って居るのでございましたやお茶滴みに、歌ぶ乙女の仇姿

文久三年六月半ばの邀頃、

つて、さそはれるまくに足を消し取び起行のを頼ごされたので、人代参の路後、都島一家に出産しそれから四日日の戦い遊松供覧町

ふので、そこは取まつた

お茶の井の清泉ー京都市銀牌寺 一、燕県・外(第二夜)」、銀牌寺洸月泉及「同八時三〇分 一漢 等と共に 露路の石 が、林泉の布置結構が幽幽財産のは、金物の影響は世に開えてある

山を背景とし精明月をの交系の井 いって一條の素酸となる。大文字

N地與行。日本連絡第日發 南級主要縣三於子船車連絡 新田

裸兵町停留塲!少南(午後往診) 郷府漢江通三!一八(午前宅診) 事論山(4)一一七二番

柳醫院